



とよ ま ね まこと
豊 間 根 信 議員
(政 和 会)

問 地域防災対策の方向性は

答 防災士会・防災組織等との連携を図る

問 地域防災の担い手となる防災士の育成を進めるとともに、自主防災組織等と連携した防災体制の構築に取り組むとのことであるが、今後どのようなビジョンをもって育成に取り組んでいくのか問う。

佐藤町長 防災士については防災リーダーとして地域の防災力向上が期待される。このことから町や自主防災組織、防災士間の連携を図り、防災士が活動しやすい環境を整えることが重要であると認識している。防災士のレベル向上を目指すため、継続的な学びによるスキルアップを図る取組については、新たに立ち上げる防災士組

織において意見を頂きながら模索していく。



山田町防災士連絡協議会が発足しました（第1回会議）

問 住環境整備について

答 これまでの対象の範囲を拡大

問 下水道の接続率向上と町民の負担軽減を図るため、接続補助を

継続するほか、整備計画区域外において、浄化槽の設置補助を拡充

とのことで大変喜ばしいことである。浄化槽設置補助事業の概要について問う。

44万円から58万5千円に引き上げられ、7人、10人槽などの補助額も引き上げられる。また、汲み取り便槽や単独処理浄化槽から合併処理浄化槽へ転換する場合は、宅内配管工事費として最大30万円を補助し、便槽撤去費なども補助していく。

問 結婚支援と子育て支援策について

答 それぞれに助成を実施

問 結婚支援はこれまでどおりの施策を継続するとのことだが、今日までの現状、今後の積極的な取組について伺う。それから子育て支援についても引き続きこれまでどおりの取組を進め、さらに手厚く不妊治療や妊婦健康診査に係る費用の助成を拡充することなどがその内容について伺う。

では結婚新生活サポート事業を実施しており、昨年10月から新たに「i・サポ」入会登録手数料の全額助成を実施している。子育て支援の拡充については不妊治療にかかる通院費や出産予定日超過後の妊婦健康診査費用の助成を実施し、安心して生み育てることができる環境づくりに努める。

町長 結婚支援につい